

愛媛県立今治病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛県立今治病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	愛媛県における慢性肝疾患に関するレジストリ研究
研究機関名	愛媛県立今治病院・愛媛大学大学院医学系研究科（研究代表機関）
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛県立今治病院 病院長 川上 秀生 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 消化器内科 (職名) 医監部長 (氏名) 中西 征司
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2028 年 7 月 31 日
対象	2005 年 4 月 1 日から 2023 年 5 月 31 日までに愛媛県立今治病院を受診された方のうち慢性肝疾患と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要	<p>肝炎対策基本法、肝炎対策推進基本指針では、肝疾患の診療連携、肝疾患診療の充実および均てん化を目的として、各都道府県に原則 1 か所の肝疾患診療連携拠点病院と 2 次医療圏に 1 か所以上の肝疾患専門医療機関の指定が求められています。愛媛県は愛媛大学医学部附属病院を愛媛県における肝疾患診療拠点病院に指定されており、肝疾患専門医療機関 15 施設と協力して、愛媛県内における肝疾患の診療連携、肝疾患診療の充実に向けた活動を行っています。</p> <p>慢性肝疾患の成因は B 型、C 型肝炎などのウイルス性肝疾患、アルコール性肝障害、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎、脂肪性肝疾患（非アルコール性脂肪肝炎）など多岐にわたる。さらに、慢性肝疾患の進展により食道静脈瘤など様々な合併症や肝細胞癌を発症する可能性が高まることが知られています。近年、C 型肝炎ウイルス（HCV）に対する直接作用型抗ウイルス薬(direct acting antivirals)の登場により、HCV 由来の肝硬変、肝細胞癌は急速に減少していると考えられています。また、核酸アナログ製剤により B 型肝炎ウイルス（HBV）による肝硬変や肝細胞癌も減少傾向にあります。他方、生活習慣の変化から代謝異常に伴う非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）やアルコール性肝障害が増加しており、慢性肝疾患における成因別頻度は大きく変化していることが予想さ</p>

	<p>れています。</p> <p>愛媛県は肝がん死亡率が高く全国上位の状態が10年以上続いています。その原因が慢性肝疾患の成因別頻度にあるのか、治療内容にあるのかなど、肝がん死亡率の改善に向けて愛媛県内の肝疾患診療に関する疫学データの蓄積が必要です。本研究では2005年4月1日から2023年5月31日までに愛媛大学及び共同研究機関を受診し、慢性肝疾患（慢性肝炎、肝硬変）と診断された症例を対象とし、カルテから把握可能な情報を収集し、愛媛県における慢性肝疾患の地域別、成因別頻度、死亡率、肝細胞癌発症率や、生命予後に寄与する因子、肝予備能に関連する因子、肝細胞癌発症に寄与する因子、食道・胃静脈瘤など肝硬変合併症の経過に寄与する因子を解析します。</p>
個人情報の取扱い	<p>収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。</p> <p>また、保管される情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛県立今治病院消化器内科 中西征司 794-0006 愛媛県今治市石井町 4丁目 5-5 Tel: 0898-32-7111</p> <p>愛媛大学医学部附属病院第3内科 渡辺崇夫 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5310</p>

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、名前や住所など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学に送らせていただきます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	肝胆膵内科 副部長 越智裕紀
共同研究機関	松山赤十字病院
既存試料・情報の提供のみを行う機関	松山赤十字病院

研究代表者	消化器内科 部長 多田藤政
共同研究機関	愛媛県立中央病院
既存試料・情報の提供のみを行う機関	愛媛県立中央病院

研究代表者	副院長 村上英広
共同研究機関	済生会松山病院
既存試料・情報の提供のみを行う機関	済生会松山病院

研究代表者	副院長 田中良憲
共同研究機関	松山市民病院
既存試料・情報の提供のみを行う機関	松山市民病院

研究代表者	消化器内科 部長 川崎敬太郎
共同研究機関	済生会今治病院
既存試料・情報の提供のみを行う機関	済生会今治病院

研究代表者	消化器内科 部長 中西征司
共同研究機関	愛媛県立今治病院
既存試料・情報の提供のみを行う機関	愛媛県立今治病院

研究代表者	副院長 芝田直純
共同研究機関	愛媛県立新居浜病院
既存試料・情報の提供のみを行う機関	愛媛県立新居浜病院

研究代表者	消化器内科 部長 山内一彦
共同研究機関	市立宇和島病院
既存試料・情報の提供のみを行う機関	市立宇和島病院

研究代表者	消化器内科 医師 廣岡可奈
共同研究機関	国立病院機構 愛媛医療センター
既存試料・情報の提供のみを行う機関	国立病院機構 愛媛医療センター

研究代表者	消化器内科 医長 浅木彰則
共同研究機関	四国がんセンター
既存試料・情報の提供のみを行う機関	四国がんセンター

研究代表者	内科 部長 有光英治
共同研究機関	市立大洲病院
既存試料・情報の提供のみを行う機関	市立大洲病院